

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

| 項目                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|---|------|----------------------------------|
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |   |      |                                  |
| <b>1. 理念と共有</b>    |   |      |                                  |
| 1                  | <p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p> <p>理念を誰でも見やすい所に掛けている。</p>   |      |                                  |
| 2                  | <p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p> <p>全員が理念を頭に入れ実現に向けて取り組んでいる。サービス実施中に理念を確認しあう事がある。</p>   |      |                                  |
| 3                  | <p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p> <p>家族には入所時に理解を得る。地域の人には運営推進会議時、説明理解を得る。</p>   |      |                                  |
| <b>2. 地域との支えあい</b> |   |      |                                  |
| 4                  | <p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p> <p>①自治会に入会し地域の行事等に参加している。<br/>②近隣の人が季節の野菜や果物を持ってきてくださる。<br/>③地域の人々の散歩コースになっているのでお茶でも飲んでいきませ んかと声を掛けあいさつを交わす。</p> |      |                                  |
| 5                  | <p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p> <p>老人会や子供会の夏祭り、廃品回収、福祉会の行事に参加している。</p>   | ○    | 地域の行事をホームの敷地内で小運動会等をしてみたい。       |

| 項目                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)  |
|-----------------------|--|------|---|
| 6                     | <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>                  | ○    | <p>非難場所は市の指定する所でなければホームに災害があったりしたらいけないので断られた。今後はホームの24時間体制を利用しなにか役に立てればと考えています。</p> |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |  |      |   |
| 7                     | <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>                           |      |   |
| 8                     | <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>           | ○    | <p>運営推進の委員さん達を含めた行事を考えていきたい。</p>  |
| 9                     | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>                            |      |   |
| 10                    | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> |      |   |
| 11                    | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>            |      |   |

| 項目                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印)   | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |  |
|------------------------|--|--|----------------------------------|--|
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |  |  |                                  |  |
| 12                     | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>            | <p>入所の決心をされるまでに現場に何度も来て頂き不安、疑問、理念を説明する。</p>  | ○                                | <p>最近家族と暮らすために退所をされましたが、今後の生活状態等話し合いが持たれず誤解を受けたまま退所されました。状況を市の職員と話し合い、相談しながらすすめました。今後も施設だけで解決できない事は行政等に相談しながらすすめていきます。</p> |
| 13                     | <p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>           | <p>今年は市の介護相談員が利用者のしたい事を時間をかけ聞かれた結果絵手紙がしたいと報告されさっそく始めました。上手に書かれるのでホーム内に掲示しています。本人もとても嬉しそうで顔が明るくなり他の人のお世話をされたり、話し相手になったりと優しくなられた気がします。</p> |                                  |  |
| 14                     | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>         | <p>家族訪問時、時間の許す限りいろんな話をするよう心かけている。遠くに住む家族やなかなかこれない家族には電話や手紙にて近況報告をしている。</p>   |                                  |  |
| 15                     | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>           | <p>家族からの意見や苦情はあまりでない。家族訪問時、居室にゴミが落ちていた事があり掃除機はないんですかと云われました。すみませんと云いすぐ掃除機をかけました。職員にはミーティング時気をつけるよう伝えた。</p>                               | ○                                | <p>寝たきりの方で移動には全介助が必要。車椅子からベットに移動する際食べこぼした物が散らかっていた。どんな状況であれ目の届いたサービス、心配りを心がける。</p>   |
| 16                     | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>                       | <p>月／一回のミーティング時職員の意見や提案を聞き、話し合い反映、実行している。</p>  |                                  |  |
| 17                     | <p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | <p>運営者、管理者は緊急時や不安な事があればいつでも連絡可能にし対応している。</p>   |                                  |  |

| 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                               | (○印)     | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)  |
|---|---|----------|---|
| <p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>                                     | <p>ここ1年半は職員の離職もなく利用者への不安はない様子。</p>                            | <p>○</p> | <p>職員の悩み、相談に耳を傾け離職を避け利用者と安定した生活が出来るようしていく。</p>  |
| <p>5. 人材の育成と支援</p>  |   |          |   |
| <p>19</p> <p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。<br/>また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p> | <p>職員募集時、性別や年齢は問わず面接を行い福祉の仕事に情熱のある人を雇用。本人の希望する勤務体制を取っている。</p> | <p>○</p> | <p>職員同士の助け合い、譲り合いがなければ認知症の支援は出来ない事を全職員とコミュニケーションを図りながら育てていきたい。職員も自己の能力を發揮し出来ない部分は他の職員の力をかりながら自己実現を目指して欲しい。一緒に生活する職員がいきいきと楽しく仕事が出来るとな事業所(家庭づくり)にしたい。</p> |
| <p>20</p> <p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>   | <p>入居者に対する人権は尊重している。事業所内で話し合いをする程度で教育、啓発活動まではしていない。</p>       | <p>○</p> | <p>行政で行なわれる人権教育、啓発運動への参加を勧めて行く。</p>   |
| <p>21</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>  | <p>介護福祉士、介護支援専門員の資格取得を勧める。</p>                                | <p>○</p> | <p>法人内では利用者個人に合った介護方法やかかわり方について常に現場訓練をし合っている。法人外の研修も今後検討しなければと思っています。</p>   |
| <p>22</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>  | <p>電話にて情報交換をする程度です。</p>                                       | <p>○</p> | <p>今年初め頃ある事業所より職員の研修の取り組みについて相談があり、相互訪問の研修の提案がありましたが発現しませんでした。今後こちらから相談をし実現したいと考えています。</p>  |
| <p>23</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>   | <p>職員の悩みや相談に耳を傾け入所者への対応方法を一緒に考えていく。</p>                       |          |   |

| 項目                         |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                 |
|----------------------------|--|--|------|--|
| 24                         | ○向上心を持って働き続けるための取り組み<br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている                             | 同上   |      |  |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |  |  |      |  |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応  |  |  |      |  |
| 25                         | ○初期に築く本人との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                  | 10日程前入所された方がいます。不安や求められる事に耳を傾け出来る事、出来ない事を知ろうと努力しています。利用者さん同士で話されている事にも聴きとり、職員への訴えより本音の部分が解ります。   |      |  |
| 26                         | ○初期に築く家族との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                       | 施設からの入所と自宅からの入所では家族の思いに違いがありますが、利用前に何度も訪問していただき、こちらからも合いにいきます。忙しい家族からの話しはなかなか一度では聴き取れませんので面会時間に決まりがない事を告げ細かく面会にきてほしいと話します。急がずゆっくり本人が安心して暮らせる場を作りましょうと話す。 |      |  |
| 27                         | ○初期対応の見極めと支援<br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                               | それまでのケアマネージャーも含め検討する。  |      |  |
| 28                         | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 本人が来られ雰囲気や場に慣れるため昼間遊びに来られるよう勧めるもいままで一例もない。入所されても自宅へ外泊される例も少ないのが現状です。   | ○    | 本人の不安を少しでも解消してあげられたらいいなと思<br>い、こちらから出向き顔を覚えてもらいどんな所なのか話を<br>します。 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援  |  |  |      |  |
| 29                         | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | 視線を同じにし本人になにかをしようとする時、声かけをし納得してもらおう。昔の歌など教えてもらう。   |      |  |

| 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)   |
|---|---|------|--|
| 30  | <p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>         |      |  |
| 31  | <p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>             |      |  |
| 32  | <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている</p>                |      |  |
| 33  | <p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>               | ○    | <p>食事中に自分の食べ残しを食べんねと他の人にあげたりする場面もよくある。観察し様子を見て行く必要がある。</p>   |
| 34  | <p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p> | ○    | <p>今後必要とされる利用者、家族があれば関係を断ち切らない付き合いをして行きたい。</p>   |
| <p><b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p> |   |      |  |
| <p>1. 一人ひとりの把握</p>                        |   |      |  |
| 35  | <p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>                   |      | <p>最近娘、孫と暮らしたいと退所されたが、入所前孫に暴力を振るわれ頭を切った状態でこられたので娘や孫との暮らしは大丈夫なのかと何度も話しあったが本人が強く希望されたのでそれ以上は云えませんでした。どんな暮らしをされているのか心配をします。</p> |

| 項目                             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印)   | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                   |
|--------------------------------|--|--|--|
| 36                             | <p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>                                    | <p>本人本位が身体によくないと判断した場合は職員と検討し実行した(自室にテレビを置く事で閉じこもりになり、昼間テレビをつけたまま寝ている事が多く夜間のトイレ回数が多く、体重も増えた)</p> | <p>○</p> <p>テレビはロビーにて他の人と一緒に見る。趣味をみつけ他の楽しみを探す。</p> |
| 37                             | <p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>  | <p>自室で寝て過ごす人、テレビの好きな人、畑仕事の好きな人等把握している。</p>   |  |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し |  |  |  |
| 38                             | <p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>     | <p>本人、家族、職員とよく話し合い計画倒れにならないような介護計画を作成している。</p>   |  |
| 39                             | <p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>病状悪化で入院されると退院時は入院前とは身体状況が大きく変りそれまでの計画では生活が出来ない時など介護保険の認定の変更やプランの変更をする。</p>                    |  |
| 40                             | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>                         | <p>個別の日々の記録により申し送りや情報を共有し身体、精神状態の変化に気づき介護計画の見直しをしている。</p>  |  |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援              |  |  |  |
| 41                             | <p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>                                   | <p>立地条件や環境に恵まれており、外気欲や屋外での食事を楽しんだりする。</p>  |  |

| 項目                          | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印)   | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)            |
|-----------------------------|---|--|---|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 |   |  |   |
| 42                          | <p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>               | <p>誕生会にボランティアで楽器演奏やレクレーションなどしてもらった。避難訓練、救急法は消防署に相談に行く。</p> |   |
| 43                          | <p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>    | <p>他のサービスは活用していない。しの社会福祉協議会に利用者の件で相談する事はある。</p>            |   |
| 44                          | <p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>   | <p>市の社会福祉協議会に相談し権利擁護を利用している。</p>                           |   |
| 45                          | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>   | <p>本人、家族の納得のもとで定期的な往診や受診を支援している。</p>                       |   |
| 46                          | <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p> | <p>身体、精神状況を定期的に受診し医師と相談しながら支援している。</p>                     | <p>○ 最近精神科の薬に疑問があります。少し勉強をしなければと思っています。</p> |
| 47                          | <p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>                | <p>日常の健康管理は職員に準看護師がいるので相談しながらしている。</p>                     |   |



| 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                    |
|---|--|------|---|
| 48  | <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>                      | ○    | 最近救急で入院されましたが、家族は日頃の生活状態がよく解らないとの事で医師より何度も連絡がありました。 |
| 49  | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>                                   |      |   |
| 50  | <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> |      |   |
| 51  | <p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>                      |      |   |
| <p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p> |  |      |   |
| 52  | <p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>  |      |   |

| 項目                            | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                  |
|-------------------------------|---|------|---|
| 53                            | <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> |      |   |
| 54                            | <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>       |      |   |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |   |      |   |
| 55                            | <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>                  |      |   |
| 56                            | <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>           | ○    | <p>利用者と職員と一緒に食卓を囲むのは今の現状では難しく悩んでいます。今後考えていかなければならない課題と 생각합니다。</p> |
| 57                            | <p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>                  |      |   |
| 58                            | <p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>              |      |   |

| 項目                            | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)  |
|-------------------------------|---|------|---|
| 59                            | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>    |      |   |
| 60                            | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>                     |      |   |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |   |      |   |
| 61                            | <p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>  |      |   |
| 62                            | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>  | ○    | <p>お金は少し家族から預かっています。本人に必要な物、欲しい物を購入し出納簿にて報告する。お金は取られた、なくなったと云われた時に困るので自己管理は考えていません。</p> |
| 63                            | <p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>                     |      |   |
| 64                            | <p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p> | ○    | <p>今年は入居者の身体状況が悪く実現しませんでした。来年はみんな元気で行きたいと思います。</p>                                      |

| 項目             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)   |
|----------------|--|------|--|
| 65             | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p> <p>現在は手紙を書いたり電話を掛けたい人はいないようです。電話がかかれば本人に代わります。</p>   |      |  |
| 66             | <p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p> <p>来訪者には職員も必ず挨拶をし、お茶やコーヒーでおもてなしをします。居心地よく過ごせる場所(自室・ロビー)本人と来訪者に選んでいただきます。訪問については時間は決まりはありません。</p>                            | ○    | <p>昼間仕事を持っている家族や夜の様子をみたい時など21時頃来られ夜勤者とお茶を飲みながら深夜までおられる家族もいます。続けていきたいと思えます。</p> |
| (4)安心と安全を支える支援 |  |      |  |
| 67             | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> <p>身体拘束や高齢者虐待について職員と一緒に勉強をしました。本人の生命に関わる事、それしか方法がないのか等話し合いを重ね家族に書面にて説明、同意を得る。観察をし必要がなくなれば解除すると文言をいれる。</p> | ○    | <p>入所当初より身体状況、精神状況が悪化し危険が大きいか、衛生上よくないと判断した時は家族に現状をみてもらい決めている。</p>              |
| 68             | <p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p> <p>歩行可能な認知症で常に外へ出たがる人がいました。その時は状況に応じ危険が伴うと判断した時は鍵をかけた事もありません。現在はそんな状況がありませんのでどこにも鍵はかけません。</p>                              |      |  |
| 69             | <p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p> <p>トイレへ行かれ時間がかかる時はドアの外から声をかけ異常がないか確認する。ロビーに長時間姿が見えないときは自室へ行き確認する。</p>   |      |  |
| 70             | <p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p> <p>薬は全員分鍵のかかる戸棚に保管し夜勤者が次の日の仕分けをする。爪切や耳掻きは自分で所持できる人にはもたせている。</p>   | ○    | <p>入所時に危険と思われるものは、本人・家族と話し合い預かる事になっている。</p>                                    |

| 項目                                | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)              |
|-----------------------------------|---|------|---|
| 71                                | <p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>       |      |   |
| 72                                | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>                 | ○    | 救急法や消防法に基づきやる事は沢山ありますが定期的な訓練をしていきたいと思えます。     |
| 73                                | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>   |      |   |
| 74                                | <p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p> | ○    | なにか起きる前に分章化して誓約書のようなものを交わしておくものかどうか、職員と検討中です。 |
| <b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b> |   |      |   |
| 75                                | <p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>           |      |   |
| 76                                | <p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>       |      |   |

| 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--|---|------|----------------------------------|
| 77   | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>         |      |                                  |
| 78   | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>                   |      |                                  |
| 79   | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>      |      |                                  |
| 80   | <p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>            |      |                                  |
| 81   | <p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>           |      |                                  |
| <p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p> |   |      |                                  |
| 82   | <p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p> |      |                                  |

| 項目                      | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|------|----------------------------------|
| 83                      | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> |      |                                  |
| 84                      | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>                              |      |                                  |
| 85                      | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>                   |      |                                  |
| 86                      | <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>                          |      |                                  |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |  |      |                                  |
| 87                      | <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>                                   |      |                                  |
| 88                      | <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>   |      |                                  |
| 89                      | <p>○建物の外周や空間の活用</p> <p>建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>   |      |                                  |

| V. サービスの成果に関する項目 |  | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 |              |
|------------------|--|-----------------------|--------------|
| 項 目              |  |                       |              |
| 90               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      |                       | ①ほぼ全ての利用者の   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいの |
|                  |  | ○                     | ③利用者の1/3くらいの |
|                  |  |                       | ④ほとんど掴んでいない  |
| 91               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         |                       | ①毎日ある        |
|                  |  |                       | ②数日に1回程度ある   |
|                  |  | ○                     | ③たまにある       |
|                  |  |                       | ④ほとんどない      |
| 92               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  | ○                     | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 93               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  | ○                     | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 94               | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  | ○                     | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 95               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                     | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 96               | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている          |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  | ○                     | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 97               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています |                       | ①ほぼ全ての家族と    |
|                  |  | ○                     | ②家族の2/3くらいと  |
|                  |  |                       | ③家族の1/3くらいと  |
|                  |  |                       | ④ほとんどできていない  |



| 項 目 |   | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 |              |
|-----|---|-----------------------|--------------|
| 98  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                        |                       | ①ほぼ毎日のように    |
|     |   |                       | ②数日に1回程度     |
|     |   | ○                     | ③たまに         |
|     |   |                       | ④ほとんどない      |
| 99  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○                     | ①大いに増えている    |
|     |   |                       | ②少しずつ増えている   |
|     |   |                       | ③あまり増えていない   |
|     |   |                       | ④全くいない       |
| 100 | 職員は、生き生きと働いている  |                       | ①ほぼ全ての職員が    |
|     |   |                       | ②職員の2/3くらいが  |
|     |   | ○                     | ③職員の1/3くらいが  |
|     |   |                       | ④ほとんどいない     |
| 101 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|     |   |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|     |   |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|     |   |                       | ④ほとんどいない     |
| 102 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | ○                     | ①ほぼ全ての家族等が   |
|     |   |                       | ②家族等の2/3くらいが |
|     |   |                       | ③家族等の1/3くらいが |
|     |   |                       | ④ほとんどできていない  |

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)